



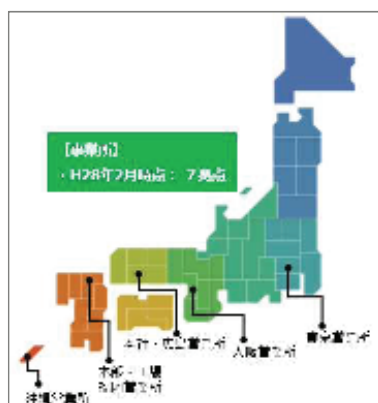
工場・物流・倉庫の高天井照明

LEDに替わる 省エネ/長寿命 EcoLoop 無電極照明

サンプル

プラスアルファー 会社概要

社名	株式会社プラスアルファー	
本社	〒721-0973 広島県福山市南蔵王町3-5-12	
設立	1988年11月	
資本金	7450万円	
役員	代表取締役会長	神田 好則
	代表取締役社長	岡部 哲也
事業内容	Induction Lamp（無電極ランプ：Eco Loop）の製品企画、開発、製造、輸入、販売 省エネルギープロダクトの製品企画、開発、製造、販売 省エネ関連の総合コンサルタント事業 総合省エネ関連ソフトウェア開発	



2015年10月	福岡市博多区諸岡に研究所を新設
2015年7月	福岡市博多区東那珂に福岡倉庫を新設
2014年4月	東京営業所内に東京ショールームを新設
2014年3月	福岡市博多区諸岡に福岡ショールームを新設
2014年1月	無電極ランプの日本国内ブランド『Eco Loop/エコループ』を販売開始
2013年12月	商号を株式会社プラスアルファー本部から株式会社プラスアルファーに変更
2013年11月	環境エコプロダクト事業の業容拡大に伴い、省エネコンサルティング・プロダクト開発・製造・販売事業を譲受、無電極ランプ照明器具製造及び販売を開始
2013年8月	福岡市博多区空港前に福岡工場を新設
1988年11月	株式会社プラスアルファー本部 設立 経営コンサルティング、サービス業及びフランチャイズビジネス管理運営、環境エコプロダクト企画・開発・製造・販売

無電極ランプとは



EcoLoop無電極ランプとは

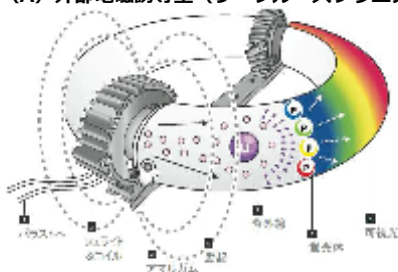
従来の水銀灯や電球のように電極や消耗品がなく、電磁誘導と放電によって放出された紫外線が可視光に変換される仕組みを採用しています。高効率でありながらランプ寿命への経年劣化は僅かなため、ランプ自体は半永久的に点灯し続ける次世代照明です



- 工場・物流施設・倉庫・体育館・商業施設など
様々な高天井・投光・省エネ/長寿命照明
まぶしくなく、ギラつかないのに、明るく鮮やか！
- ◆ 定格寿命 100,000時間と 60,000時間
 - ◆ 高演色 Ra80以上
 - ◆ 光束維持率 No.1
 - ◆ 電気料金最大 約75% 削減
 - ◆ 瞬時点灯0.1秒
 - ◆ 発熱温度が~80℃で空調電力も削減
 - ◆ 製品保証5年 ※ベースランプは3年

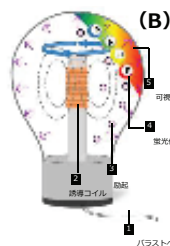


- (A) 外部電磁誘導型 (サークル・スクエア)
- ・ 定格寿命は100,000時間
 - ・ 発熱温度は80℃以下
 - ・ 水銀灯200W相当~2000W相当の豊富なラインナップ



(B) 内部電磁誘導型 (ボールタイプ)

- ・ 定格寿命は60,000時間
- ・ 発熱温度は120℃以下
- ・ 水銀灯100W相当~300W相当までのラインナップ



無電極ランプとは（外部電磁誘導型の例）

【主な器具の種類】

1. 吊下げ式 : 70,100,120,150,200,250,300,400,500W
2. 投光器 : 70,100,120,150,200,250,300W
3. キャンピー : 70,100,120,150,200W
4. 口金タイプ : 50W

① 発光部（ガラス内部は蛍光体：日亜化学工業製）

② 電磁誘導部（ガラス外部にコイル）

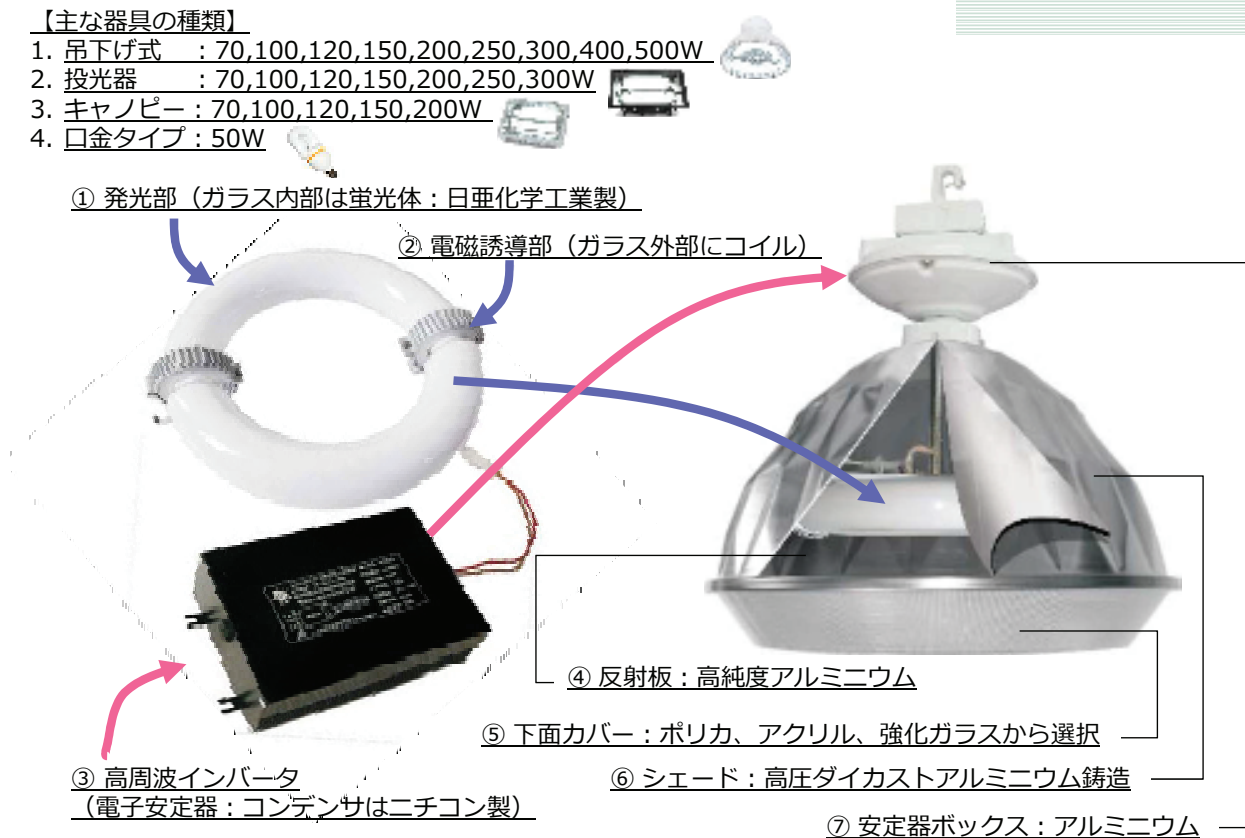
③ 高周波インバータ
（電子安定器：コンデンサはニチコン製）

④ 反射板：高純度アルミニウム

⑤ 下面カバー：ポリカ、アクリル、強化ガラスから選択

⑥ シェード：高圧ダイカストアルミニウム鑄造

⑦ 安定器ボックス：アルミニウム



無電極ランプとは

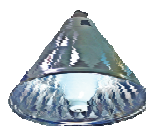


① 明かりの質の違い：空間の明るさ

高天井照明の中で「最も瞳に優しい明かり」と言われる無電極ランプ。「省エネ」「長寿命」のみならず「明かりの質」は空間全体を鮮やかに変え、快適性、生産性の向上に大きく貢献します。



エコループ無電極ランプ



一般の水銀ランプ



無電極ランプを導入されるメリット



① 明かりの質の違い：空間の明るさ

現在、一般的に照明の明るさの基準として用いられている単位は「ルクス」です。

しかし、ルクスは照明があたっている平面（一般的には床や机）の照度のことを指すため、それだけでは部屋全体が明るいのか、暗いのかは分かりません。

下のAとBの画像を比較して『どちらが明るいですか？』と聞くと当然Aと回答されます。本来、机上やデジタル照度計の「ルクス」で比較するとBの数値が高くなります。これが数値と人間の感覚の差異いわゆる平面と空間の明るさの違いになります。

照度（ルクス）を計測するとAは130lux、Bは180luxとなり、数値だけだとBが明るくなってしまいます、人間が明るいと感じるのはAとなり空間が明るいことを意味します。



LEDではなく、無電極ランプを導入されるメリット



① 明かりの質の違い：作業の妨げ『光の影』の対策

点発光のLEDやメタハラ光源は指向性が強く、作業の妨げとなる光の影が出やすいという特徴がありましたが、面光源のEcoLoop無電極照明は点発光光源に比べ影を抑える事ができます。



LEDではなく、無電極ランプを導入されるメリット



① 明かりの質の違い 高演色

【某工場の入替え例】



水銀ランプ400W (Ra40)



無電極ランプ150W (Ra80)



演色性とは：光源がある物体を照らしたときに、その物体の色の見え方に及ぼす光源の性質。
一般的に自然光を基準（100）として、「良い」「優れる」「悪い」「劣る」と判断します。

【CIEとJISの演色性評価方法】

※ CIE：光や照明、色彩、放射の応用に関する国際規格を定める、国際照明委員会



平均演色評価数 (Ra)
試験色No. 1～No. 8の演色評価数の平均値



特殊演色評価数 (R_i)
試験色No. 1～No. 15の演色評価数(個々の色で数値評価)

Copyright © 2014 Newton Energies Co.Ltd. Allrights reserved.

LEDではなく、無電極ランプを導入されるメリット



② より長く明るい光束維持：省エネ照明で最長の照度維持

従来の電球や水銀灯のように電極などによるランプの経年劣化が少ないため、照度の減衰スピードが遅く、100,000時間でも70%の光束維持率。

1日最大/12時間、年間点灯/300日を利用された場合は、年間利用/3,600時間使用する事となり、60,000時間÷3,600時間で15年以上（16.6年）となります。

1度の投資で15年以上、照明器具は80%以上の安定した明るさを保つことができます。

